

10月のアーティスト



伊藤 斗惟 くん
うみのもり保育園 5歳



七五三で神社に行ったときのことを描いたよ。
みんなで写真を撮ったよ。願い事をして、うれしかった！

みんなの詩歌

No.295



銀世界小さな足跡跳ぶうさぎ
大御堂 尊
門陣でエンジンかける夏の陣
伊藤 琉
花火鳴りとなりで笑う友が花
飯島 成美
青き夏まだ見ぬ道を照らしけり
田頭 里緒
江釣子中学校三年

※掲載作品は日本現代詩文館内に展示しています。

おらほの愛どる



日野 滯 ちゃん
令和5年12月13日生まれ
(北鬼柳)

毎日癒しをありがとう。これからたくさん思い出つこうね。
big love



高橋 七楓 ちゃん
令和5年7月18日生まれ
(村崎野)

生まれてきてくれてありがとう
♡すくすく元気に育ってね～!!



千葉 蒼天 くん
令和6年5月9日生まれ
(北鬼柳)

運動大好き蒼天くん。これから
もすくすく育ってね！目指せ大
谷翔平選手！

みんな

の広場

この人に聞く No.231 Spotlight

認知症でも働ける場を 注文のやんべな料理店

菊地 和恵 さん



「皆さん笑顔で本当に頑張って働いてくれました」。そう話すのは、認知症当事者がホールスタッフを担う「注文のやんべな料理店プロジェクト」のリーダー・菊地和恵さん（黒沢尻、54歳）です。世界アルツハイマーデーの9月21日、「（社）注文をまがえる料理店」の募集により、全国34カ所で一斉に料理店が開催されました。「やんべ」は方言で「いいあんばい」という意味。市内では和賀町岩崎の夏油古民家カフェ「kobiiru」で催され、市内外の認知症当事者4人が見守られながら注文や配膳などの接客を行いました。70

人以上が来店し、菊地さんは「お客さんも寄り添ってくれた。同スタッフやお店にも感謝」と振り返ります。プロジェクトを立ち上げたきっかけは母が認知症になった経験から。「働きたい」と繰り返す母に場をつくらせてあげたい。その思いの中で平成29年に東京都で行われた「注文をまがえる料理店」を知り、この形なら働けるかもしれないと希望を抱きました。市内医療機関で働く菊地さんは幅広い職種の人に声をかけて仲間を募り、令和元年に市内で「注文のやんべな料理店」を初開催。母も参加し、にこにこ働く姿を見て達成感を覚えました。翌年も計画しましたが、コロナ禍で中止に。それでも菊地さんは歩みを止めず、仲間と共に前向きな姿勢で認知症関連の催しを続け、今回の開催へつながりました。現在は当事者や家族が気軽に語り合える場「本人ミートイニング&家族ミートイニング」にも力を入れる菊地さん。「頑張りすぎず、やんべにいきましよう」と優しく呼びかけます。同催しの詳細は下記のフェイスブックをご覧ください。



フェイスブック

どんなクラス？

笑顔と元気がいっぱい（大悟、あかり）
読書が好き（陽斗）
仲良しで楽しい（沙羅、蒼）
好奇心旺盛で、切り替えが早い（終花）
休み時間にサッカーや鬼ごっこをして遊ぶ（陽斗）
係の仕事の時に助け合える、優しい（羽琉）

担任 高橋先生からのメッセージ

元気なあいさつ、きらきら笑顔。難しくなってきた学習も、意見を出し合って、楽しんで学んでいるところがとてもすてき。これからも、みんなで仲良く元気に過ごそう！

10月のクラス 飯豊小学校 3年3組

